

ようご



あいさつ

会長 福士典子

記録的な猛暑であった今夏、熱中症対策に迫られた長い夏が終わりました。沿岸部の仮設校舎の教室は40度にもなる報道され、その中で学習環境を整え、熱心に教育活動に取り組まれている会員の方々へ深く敬意を表したいと思います。

また、4月からは青森県より震災支援として4名の養護教諭の方々が久慈市と洋野町の小中学校でご勤務されています。岩手の復興支援教育に携わっていただき、心より感謝申し上げます。

さて、去る6月1日、平成24年度定期代議員総会が開催され、本年度の事業計画等が承認されました。

特にも「東日本大震災にかかわる養護教諭の実践報告集」の発刊についてご審議、承認をいただきました。あの混乱の中、いかにして児童生徒の命と心を守ったらいいかと必死で活動し、奮闘してきた岩手の養護教諭の記録は、私たちが後世に残す意義深い記録集になるものと確信しているところです。来年2月の発刊まで皆様方のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

震災支援活動の継続といたしましては、日本赤十字社第3次支援として扇風機をご支援いただきました。そして、5月には「ひょうごガーデンマイスター」の方々が来県され、ワイルドフラワーカーの種とポプリを頂戴し、総会時に沿岸地区の学校へ配布することができました。各校で色とりどりの花を咲かせ、心と体の癒しに役立つ

ていると伺っております。また、当部会への義援金として全国養護教諭連絡協議会様、東北地区養護教諭連絡協議会様、全国学校保健養護教諭担当主事会様、静岡県養護教諭研究会様より多大なるご支援を頂戴いたしました。ご厚意は、震災支援活動の充実に役立てさせていただきたいと思っております。

今年度の事業としては、第5回実践研究に関する研修会が7月28日、9月1日に行われました。今回は岩手県立大学看護学部講師 井上都之氏をお迎えして「実践に生かせる統計の基礎を学ぶ」というテーマで、42名の方々が休日返上で熱心に研修に取り組まれました。

11月16日には、「養護」に根ざした養護教諭の教育実践」をテーマに第36回岩手県養護教諭研究大会が開催されます。午前は岩手県立大学看護学部講師 堀籠ちづ子氏をお迎えして「岩手の養護教諭の今、そしてこれからを考える」と題しましてご講演をいただきます。午後は自主発表を含めた班別協議会となっております。研究大会では子どもたちに寄り添い続ける養護教諭の「養護」に根ざした教育実践について皆様と共に協議を深めていきたいと思います。

終わりに、今後とも子どもたちの健やかな成長に資する活動を充実させて参りたいと思っておりますので皆様方には引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。あいつと致します。

《東日本大震災支援対策委員会の 今年度の活動について》

岩手県学校保健会養護教諭部会
東日本大震災支援対策委員長

岩崎紀子

東日本大震災から1年6ヶ月が経過いたしました。これまで全国の皆さまからの義援金やご支援、心温まる励ましを頂いております。心より感謝を申し上げます。心より感謝を申し上げ、義援金につきましては支援活動費として大切に使用させていただきます。

本委員会は、被災地区学校の養護教諭への支援のあり方を協議し、的確かつ迅速な支援活動を中長期的に継続することを目的に昨年の7月13日に発足いたしました。

平成24年度は、沿岸部の会員2名を新たに迎え10名の委員と会長・副会長とともに、被災地区学校の会員の皆様と連絡を取らせていただきながら支援活動を進めていくところであります。十分検討しながら進めてはおりますが、ご要望にお応えするのに時間がかかるなどご不便をおかけしております。

今年度も昨年度に引き続き、日本赤十字社の第3次支援として扇風機希望調査を行い、東日本大震災復興支援推進本部から、6月に希望のあった41校に配置されました。猛暑の今夏は、子どもたちの身体に涼風を届けるのに役立つことと思っております。

は、「東日本大震災にかかわる養護教諭の実践報告集」の作成を進めております。作成にあたり会員の皆さまにはご負担をおかけいたしました。原稿執筆、写真・資料等の提供を頂いたことに心から感謝申し上げます。今後、支援対策委員会でも編集作業を進め、平成25年2月には会員の皆さまのお手元にお届けしたいと思っております。

また、定期代議員総会でご承認いただいた本部会のホームページが、9月3日に開設されました。昨年度9月に立ち上げました東日本大震災支援対策委員会ホームページを移行し「岩手県学校保健会養護教諭部会 ようご岩手」ホームページとして部会の情報とともに引き続き支援対策委員会の活動を紹介しております。5月にひょうごガーデンマイスターの皆さまから頂いた花の種のワイルドフラワーカー日記を更新しておりますのでぜひご覧いただきたいと思います。今後、委員会の皆さまのご協力をいただきながら活動を継続して参りたいと思っております。また、ぜひ委員会の皆さまのお声を支援対策委員会へお寄せ下さい。お待ちしております。